

## ◎主な市公共施設の利用再開予定について

※避難所として使用していた施設および一部利用可能、閉鎖中の施設のみ掲載しています。  
※利用できる＝○、利用できない＝×、一部利用できる＝△

	施設名	問い合わせ	利用の可否	備考	
迫	森公民館・迫森農業研修センター	0220 (22) 2262	×	閉鎖中	
	迫武道館	0220 (22) 2323	×	11月下旬利用再開予定	
	迫ふるさと交流館 (長沼)	0220 (22) 7600	×	避難所利用 (8月20日退所予定・8月下旬利用再開予定)	
登米	登米公民館	0220 (52) 2316	△	避難所利用 (8月20日退所予定・9月1日利用再開予定)	
	教育資料館	0220 (52) 5566	△	2階一部観覧制限あり	
	登米武道館	0220 (53) 1155	×	避難所利用 (8月20日退所予定・9月1日利用再開予定)	
東和	米谷公民館	0220 (53) 2006	△	米谷保育所利用中 (図書室、ホールは利用可能)	
	米川公民館	0220 (53) 4155	△	多目的ホールを除き利用可能 (11月下旬利用再開予定)	
	東和国際交流センター	0220 (45) 1822	○	8月上旬利用再開	
	及甚と源氏ポータル交流館	0220 (45) 2577	×	避難所利用 (8月20日退所予定・8月下旬利用再開予定)	
	東和嵯峨立コミュニティセンター	0220 (53) 3003	×	閉鎖中 (グラウンドのみ利用可能)	
	錦織公民館 (東和勤労青少年ホーム)		△	多目的ホールを除き利用可能 (11月下旬利用再開予定)	
	東和総合運動公園		野球場	×	閉鎖中
			多目的グラウンド*	△	一部利用制限あり
			テニスコート	△	2面のみ利用可能
	第2多目的グラウンド*		△	一部利用制限あり	
	旧鱒淵小学校		△	屋体のみ8月下旬利用再開予定	
旧嵯峨立小学校	×		避難所利用 (8月22日退所予定・8月下旬利用再開予定)		
中田	宝江ふれあいセンター	0220 (34) 2143	△	多目的ホールを除き利用可能 (11月下旬利用再開予定)	
	上沼ふれあいセンター	0220 (34) 2002	△	多目的ホールを除き利用可能 (11月下旬利用再開予定)	
	石ノ森章太郎生家	0220 (35) 1099	×	11月下旬観覧再開予定	
	中田B&G海洋センター プール	0220 (34) 8081	×	閉鎖中	
豊里	豊里多目的研修センター	0225 (76) 2237	×	避難所利用 (8月下旬退所予定・9月上旬利用再開予定)	
米山	善王寺コミュニティセンター	0220 (55) 2124	△	駐車場が一部利用不可 (11月下旬利用再開予定)	
	旧善王寺小学校	0220 (55) 5087	×	南三陸町立戸倉小・中学校で利用中	
	吉田運動場	0220 (55) 2113	△	一部利用制限あり	
	米山B&G海洋センター 体育館		×	11月下旬利用再開予定	
	平筒沼y o u y o u 館		○	7月20日利用再開	
石越	石越公民館	0228 (34) 2036	△	石越幼稚園で利用中 (多目的ホール、研修室1・2は利用可能)	
	石越体育センター	0228 (34) 4021	×	12月中旬利用再開予定	
	石越総合運動公園		△	一部利用制限あり	
南方	南方体育センター	0220 (58) 2880	△	一部利用制限あり	
	南方定住促進センター	0220 (58) 4579	△	トレーニング室を除き利用可能	
	西郷公民館 (南方就業改善センター)	0220 (58) 4556	△	西郷幼稚園利用中 (研修室1・2は利用可能)	
	南方武道伝承館	0220 (58) 5383	×	11月下旬利用再開予定	
	南方総合運動場		×	12月中旬利用再開予定	
	野球場		△	一部利用制限あり	
津山	津山林業総合センター	0225 (68) 2069	△	避難所利用 (8月下旬退所予定) (健康増進室のみ利用可能)	
	津山若者総合体育館		×	避難所利用 (8月下旬退所予定・9月上旬利用再開予定)	
	津山運動広場		×	仮設住宅利用	

# 東日本大震災に関するお知らせ

## ◎稲などの放射性物質検査について

市では、登米産米のコメの安全性をいち早く確認するため、稲などの放射性物質検査に独自に取り組んでいます。市内9町域の1カ所ずつ、収穫前に3回検査を行います。検査日程は以下のとおりです。

### 【検査日程 (予定)】

採取・検査	稲	水田土壌	玄米	計	採取町域
8/11 (木) ~ 16 (火)	9点	9点		18点	市内9カ所
9月上旬	9点			9点	市内9カ所
9月下旬	9点		9点	18点	市内9カ所
計	27点	9点	9点	45点	

※8月11日~16日までの水田土壌試料採取は、同期間の稲試料と同一個所から採取します。  
※9月上旬 (2回目) および9月下旬 (3回目) の稲および玄米採取についても、8月11日~16日採取と同一ほ場から採取する経過調査とします。

【検査機関】 厚生労働省登録衛生検査機関 財団法人宮城県公衆衛生協会

【検査結果】 市ホームページおよび市メール配信サービスに掲載・配信します。

## ◎野菜における放射性物質について (Q&A)

※出典 (宮城県ホームページ)

### Q1. 家庭菜園で育てた野菜などは食べても大丈夫ですか？

A1. 原子力災害対策特別措置法に基づき、規制値を超えた品目について、地域を指定して食品の出荷制限および摂取制限が行われており、また出荷制限対象以外の流通する食品についても、食品衛生法に基づき定められた暫定規制値を超えるものは流通させない取り組みがなされています。

したがって、家庭菜園の所在地が出荷制限または摂取制限が行われている地域などに該当しないかどうかよく注意してください。

これまでのところ、宮城県内で採取した野菜からは暫定規制値を上回るものは出ていません。登米市内で生産された野菜の調査結果は下表のとおりです。

### 【市内で生産された農産物の放射性物質の調査結果】

品目	調査時期	放射性ヨウ素 (規制値: 2,000 ベクレル/kg)	放射性セシウム (規制値: 500 ベクレル/kg)
ほうれんそう	平成23年4月	13.6	不検出
きゅうり	5月	不検出	不検出
キャベツ	6月	不検出	不検出
ニラ	7月	不検出	不検出
きゅうり	8月	不検出	不検出



### Q2. 放射性物質は野菜のどの部分につきやすいのですか？

A2. 放射性物質が大気中に放出された場合は、まず葉の表面に直接付着します。したがって、キャベツや白菜などの結球している葉物は外葉をむくことで大幅に減らすことができます。もちろん土壌にも沈着しますが、土壌から野菜へ根を通して吸収移行する割合は、直接付着の100分の1ほどです。

### Q3. 野菜などを食べる際に気をつけることはありますか？

A3. 野菜を洗う・煮る (煮汁は捨てる) ・皮や外葉をむくなどによって、汚染の低減が期待できます。例えば、ほうれんそうや春菊などの場合、いわゆる「あくぬき」によって、セシウムやヨウ素の50%~80%が除去されるという研究報告があります。

3月の水素爆発直後には、放射性ヨウ素が心配されましたが半減期が約8日であることから、再度爆発がなければ、現在では心配するレベルにはありません。むしろ半減期が約30年の放射性セシウムは、土に長く留まる性質があるので、野菜に付いた土壌粒子を取り除くため、十分に水洗いすることが大切です。

## ◎石越中学校一時移転について

東日本大震災により大きな被害を受けた石越中学校の復旧工事を行うため、一時的に旧上沼小学校を利用することとなりました。

また、通学にはスクールバスを運行します。